

# MRI 検査説明書

安心して検査を受けていただくための説明書です。

## ①当院のMRI検査について

- ◇ MRI装置は中心に穴のあいた大きな磁石と考えて下さい。
- ◇ この大きな磁石（1.5テスラ）に体を入れて、電波を用いて全身の検査を行います。
- ◇ 撮影中は少し大きい音がしますので、ヘッドホン又は耳栓を装着します。
- ◇ 検査時間はおおむね40分くらいです。
- ◇ 検査中は、仰向けで体を動かすことはできません。
  - （念のため、検査中は呼出ブザーを手に持っていただきます）
- ◇ 検査に痛みはありませんので、安心して検査をお受け下さい。



## ②お食事や検査前の準備について

- ◇ 検査当日のお食事はふつうにおとりください。（ただしお腹の検査は、絶飲食の場合があります）
- ◇ 服用中のお薬は医師からの指示がないかぎりいつも通りに服用してください。

- ◇ 検査前に検査衣に着替えていただきます。
- ◆ また以下のものは検査室に持ち込めません。（更衣室に収納し、施錠します）



- かつら、眼鏡類（眼鏡、補聴器、入れ歯等）、義足
- 貴金属（財布等）・装飾品類（指輪、ネックレス、イヤリング、ヘアピン等）、ネイルアート
- 防寒下着（ヒートテック等）、金属の付いた衣類・下着、エレキバン、コルセット、湿布、
- 貼付薬（ニトロガム、ニコチネル、ノルスパンテープ、ニュープロパッチ等）
- 磁気カード類、鍵、電子機器類（時計、携帯電話等）
- **コンタクトレンズ、化粧品（マスカラ等）**：種類により金属を含み、組織に損傷をきたす可能性があります（コンタクト保存液・洗浄液・メイク落とし等を、用意しています）
- 健康器具（パワーアンクル等）

## ③重要事項について

- ◆ 次に該当する方は、MRI検査はできません。

- 心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を体内に入れている方（絶対禁忌、MRI対応機器でも当院ではできません）
- 電子装置（人工内耳、シャント、神経刺激装置、骨成長刺激装置等）、消化器止血クリップ、義眼、ステント（術後2か月未満）、美容整形の金糸を入れている方

- ◆ 次に該当する方は、MRI検査はできない場合があります。

- 脳動脈クリップ、人工心臓弁等を体内に入れている方（金属の名称・型式や材質が分からない場合検査できません）
- ステント、フィルタ、人工関節、プレート等がある方（同上）
- 避妊リング、歯科インプラント、その他体内に金属のある方（同上）
- 閉所恐怖症など狭い場所が苦手な方
- 妊娠中もしくは妊娠している可能性のある方（胎児に対する安全性が確立されていません）
- 刺青のある方（火傷又、熱感を感じる場合や変色する場合があります）
- 金属研磨等の職業歴、事故等で体内に金属のある方



### \*体内金属（ステント等）について

- ①まず、手術を受けた病院（医療機関）に問合せの上、MRI検査の可否をご確認ください。
- ②体内金属（医療機器・医療材料等）の名称・メーカー・型式が分かれば、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）ホームページ（<http://www.pmda.go.jp/>）で添付文書を確認し、MRI検査の可否を調査することが可能です。